

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田原駅前Dビル新築工事	階数	地上9F
建設地	小田原市栄町1丁目689-1, 687-19, 30	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年6月21日
敷地面積	1,253 m ²	作成者	株式会社インアキテクト
建築面積	674 m ²	確認日	2017年6月23日
延床面積	5,549 m ²	確認者	株式会社インアキテクト



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
省エネルギー、省資源に配慮した設備を使用している。	特に無し。	
Q1 室内環境 昼光率: 共用部2.5%以上・居室1.0%以上1.25%未満とし、積極的に昼光利用を行っている。 内装仕上げにF☆☆☆☆の建築材料を使用し、シックハウス対策等、宿泊者の快適性に配慮している。	Q2 サービス性能 各種設備の配管は耐用年数の高い材質を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー 省エネルギー基準をクリアする省エネ設備を採用している。	LR2 資源・マテリアル トイレ等の洗浄水に井水を利用している	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量の抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される